

## 平成30年度学生による地域フィールドワーク研究助成事業

### 研究成果報告書

- ・機関及び学部、学科等名：高岡法科大学 法学部
- ・所属ゼミ：石田ゼミ
- ・指導教員：石田 瞳
- ・代表学生：堀田 敦也
- ・参加学生：堀田 敦也、小田 司、児島 さくら、杉本 真章、永岡 優志、水上 和希

【研究題目】「観光案内情報誌 By Student」

#### 1. 課題解決策の要約

富山県の魅力を伝えるために、学生の目線に立った富山県の情報誌作成を試みる。県外の人には富山県の魅力を県内の人には富山県の魅力を再発見できるような情報誌作成をすることにより、他県と比べると圧倒的に知名度も認知度も低い富山県の知名度を高め、経済活性化につなげる必要がある。今回、富山県の名スポットや隠れた迷スポットを学生アンケートによって拾い上げ、取材を基に独自見解による情報誌作成を行った。

#### 2. 調査研究の目的

富山県内の大学生2年生と3年生を対象にアンケート調査を行い、このアンケート調査を基に、現地調査及び現地取材を行う。現地取材においては、管理者のインタビュー及び写真の撮影を行い、写真入りの情報誌を作成する。

#### 3. 調査研究の内容

高岡法科大学、富山大学経済学部、富山県立大学、富山国際大学に在籍している2年生及び3年生の合計1250名のアンケート調査（アンケート用紙参照）を各大学の協力を得て実施。

有効回答からスポット抽出し、その後、心霊スポットと県外にもあるチェーン店、管理者が県外となっているスポットを外す。

スポット抽出後、対象取材先へ取材依頼。

取材許可後、写真撮影及びインタビュー

アンケート（アンケート用紙参照）によるコメント、取材時の写真とインタビュー内容、取材者の感想を基に、20件程度の厳選を行う。

#### 4. 調査研究の成果

有効回答数：860枚

件数：568か所

取材対象：210か所

厳選：20か所に絞る



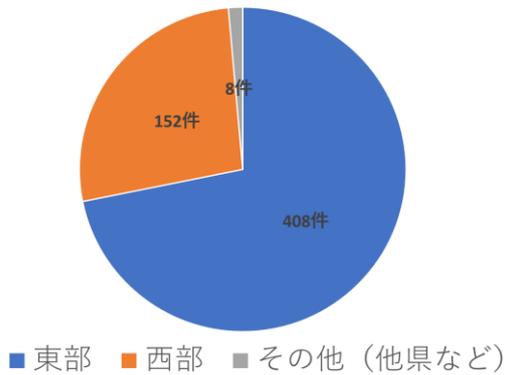
**【西部】**

氷見市、高岡市、射水市、小矢部市、  
砺波市、南砺市

**【東部】**

富山市、舟橋村、上市町、立山町、  
滑川市、魚津市、黒部市、入善町、  
朝日町

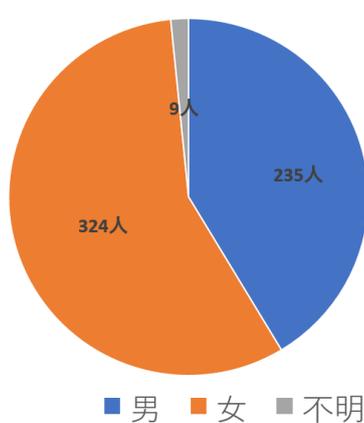
東部と西部のスポット件数



東部と西部のスポット件数の差

- 交通網の差
- 学生が把握している観光スポットが東部の方が多。
- 大学生であるが故に、自分の家の近くでしか動かない
- 西部の人は金沢に行く
- 東部の人は富山市に行く

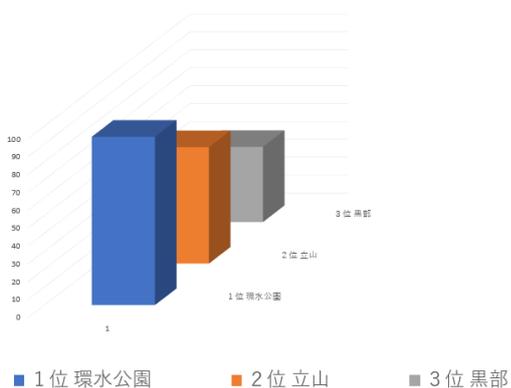
男女の数



男女比率

- 特に大きな差はない。
- 観光スポット化している所が多く、あまり学生だからこそ行くような場所は少ない。
- カフェ系は女子が多い。
- 飲食店は穴場が多い

富山県内の名所TOP 3 (約800人に聞いたところ)



- 1位：環水公園（環水公園・松川・桜・スタバ・富山県富岩運河環水公園）  
男女比 34：51
- 2位：立山（称名滝・立山・立山黒部アルペンルート）  
男女比 23：27
- 3位：黒部（黒部ダム・宇奈月温泉・黒部峡谷・トロッコ）  
男女比 17：23

女性の獲得数を多く得ている場所が、人気ランキング上位である。

# アンケート用紙

## アンケート

【目的、場所、ジャンル等】  
本研究は、地域貢献という観点にも、富山県の魅力を伝えるために、富山県の観光案内情報誌を作成し、地域貢献の観点から、観光情報誌を作成し、知名度の高い富山県の魅力を伝えることで、富山県の観光産業の活性化に繋がると考えました。そこで、富山県観光局を対象とし、本学学生と富山県学生（2～3 年生）を対象にした富山県の観光ガイドブックのアンケート調査を行うことになりました。ご協力をお願いします。

＜質問＞  
1. 2, 3. の項目については○で囲んでください。  
4. 5, 6. の項目については、必要に応じて記入してください。  
4. 5, 6. の回答例

①名称  
富山県立大学

②コメント  
暑いが、自然に囲まれているため友人関係が育みやすい。

その他の質問事項についても、必要に応じて記入してください。  
※複数コメント可

1. 性別 (男・女)  
2. 学年名 (富山大学・富山県立大学)  
3. 出身 (県内・県外)  
4. 富山県内で行った観光地

①名称

②コメント

・何人で行きましたか？ ( ) 人  
・誰と行きましたか？ 家族・友人・知人・その他 ( )  
・どの季節に行きましたか？ (春・夏・秋・冬)

5. 富山県内でもう一度行きたい所

①名称

②コメント

・何人で行きましたか？ ( ) 人  
・誰と行きましたか？ 家族・友人・知人・その他 ( )  
・どの季節に行きましたか？ (春・夏・秋・冬)

6. 富山県内で行ってみたい所

①名称

②コメント

アンケートは以上です。ご協力ありがとうございました。

個人情報文書  
個人情報を外部へ一切漏らしません。

連絡先  
takaoka.scm1.3@gmail.com

# レイアウト一例

富山県魚津市、富山県の東部に位置し、富山県から東へ25キロメートルの距離にあり、北東は布施川を境に黒部市と、南西は早月川を隔てて滑川市、上市町と接しています。北西には富山湾が広がり、一層気候・埋没林・ホタルイカ二が魚津市の三大奇観として知られています。

お店の方の話を紹介する前に・・・？！行ってみたい感想！魚津市ののどかの街を歩いていると・・・(´\_`)！。おしゃれな雰囲気のお店を発見、これが、うわさの藤吉かと。足取りははずみずみ！。中にさっそく入ることに(^^)中は落ち着いた木の香り、。そうさ！調味料めずらしいものまで！奥にいくと、様々な年齢層の方々がカフェで楽しんでいます。ここだけでも、。言って満足と思える場所でした。気になる商品の感想なんですが、.....。ここで藤吉の大野さんからいただいたお話で紹介するお。



藤吉  
魚津 本店



富山県魚津市、富山県の東部に位置し、富山県から東へ25キロメートルの距離にあり、北東は布施川を境に黒部市と、南西は早月川を隔てて滑川市、上市町と接しています。北西には富山湾が広がり、一層気候・埋没林・ホタルイカ二が魚津市の三大奇観として知られています。

お店の方の話を紹介する前に・・・？！行ってみたい感想！魚津市ののどかの街を歩いていると・・・(´\_`)！。おしゃれな雰囲気のお店を発見、これが、うわさの藤吉かと。足取りははずみずみ！。中にさっそく入ることに(^^)中は落ち着いた木の香り、。そうさ！調味料めずらしいものまで！奥にいくと、様々な年齢層の方々がカフェで楽しんでいます。ここだけでも、。言って満足と思える場所でした。気になる商品の感想なんですが、.....。ここで藤吉の大野さんからいただいたお話で紹介するお。

続きは次のページで→



## 大家さんの話

藤吉の一番おすすめの商品は、水だんごというものです。富山県産コシヒカリを使用しており、水だんごは水で1度固子を洗ってから食べます。独特の食感をもってあり、この水だんごを作る技術はここにしかありません。どの商品であっても、お客様に満足していただけるか、自らの金を出してまで買いたいと思っていただけかを常にかんがえています。カフェだけでなく惣菜や調味料なども買ってください。商品販売しています。藤吉では、日本中の美味しいものを味わえ、フラスアルファな美味しさを体験できます。

食べてみた！おすすめメニュー。



水団子！水で洗って食べたという不思議なだんご！さっそく食べると、.....、歯切れが良い！きな粉と相性抜群！お願いだから食べてみて、。他にもいろいろあるけどあえて紹介はこれだけ！あとは行ってみてね！！本当におすすめです！！最後に学生からの声を上げさせていただきます。

交通手段。 魚津駅から330m。 営業時間。 ランチ：11：30～ 14：00。 カフェ：10：00～ 18：00。 惣菜・物販：10：00～ 19：00。 定休日：日曜日。	・水団子美味しかった。 ・店内がおしゃれでとてもよかったです。	学生の声
--	------------------------------------	------

情報誌として、現段階で取り上げる予定

- ランキング 1位～3位

- ・環水公園           ・立山           ・黒部
- 取材をした結果、取材者の一押し（ランキング1位～3位）
  - ・東福寺野倶楽部（東福寺野自然公園を含む）   ・太閤山ランド   ・合掌造り
  - ・岩瀬浜       ・富山城址公園       ・藤子不二雄ふるさとギャラリー       ・瑞龍寺
- 一押しグルメ
  - ・サンタエンジェル       ・戸出ジェラート       ・藤吉
- 取材者が個人的に面白かった場所
  - ・高岡古城公園       ・埋没林（魚津埋没林博物館）       ・勝興寺
  - ・桜ヶ池公園自遊の森キャンプ場

## 5. 調査研究に基づく提言

今回の取材により、富山にしかない魅力が多くあることが判明した。そこで、知名度、認知度を上げるための手段を模索する必要がある。

そのため、今後は、HPを開設し様々な地域連携を図ることで相乗効果を目指すため、QRコードを設置し、紙媒体ではなくスマホで簡単に見ることができるシステム構築を目指す必要がある。

## 6. 課題解決策の自己評価

自分たちで実際に取材をすることで、通常の情報誌にはない魅力が多くあった。しかし、それらの情報は、情報誌に掲載されることもなく、また、知名度や認知度も未だ低いままである。

今回、学生を対象にアンケート調査を試みたものの、県内外学生にあまり差がなく、有名所のみしかなかった。これは、学生であるため、行動範囲の狭さから東部の学生は東部に、西部の学生は西部の有名観光スポットにしか足を運んでいないことがうかがえる。

また、アンケート調査における上位3位の黒部に至っては、トロッコ、黒部ダム、黒部峡谷にしか足を運んでいない。宇奈月温泉を挙げている学生は、黒部の中でも、第2位につけているが、アンケート項目作成やアンケート調査に時間を費やしたため、取材開始が遅れたこともあり、宇奈月温泉は2月下旬に予定している。それに加え、全ての箇所を回りきれいていないため、情報誌として、取り上げる20件についてもあくまでも予定である。

できるだけ、一般的な情報誌に掲載されていない情報を取扱い、他県にはない魅力を手軽に得られるシステム構築を目指すことを想定している。